

『カクキューの八丁味噌を愛した著名人』
～ 菅野 経三郎（かんの つねさぶろう）～

1877 年（明治 10 年）～1956 年（昭和 31 年）

愛知県岡崎市出身。岡崎市第 5 代市長。岡崎市名誉市民。

岡崎市連尺町で呉服店を創業し商業界で活躍しましたが廃業し、市政に没頭されました。

1935 年（昭和 10 年）第 5 代市長に就任し、戦時中から終戦にかけての動乱期の市政を担当しました。

1940 年（昭和 15 年）念願の岡崎市庁舎を完成させました。
また、この年は初代神武天皇即位から 2600 年にあたる事から紀元（または皇紀）2600 年とされ、全国各地で祝典や行事が開催されました。岡崎公園（現・岡崎城公園）運動場では 2000 人の学生や市民が提灯を揚げ紀元節の式典を開催しました。

1945 年（昭和 20 年）空襲により市街地が焼土化しましたが、戦後にかけて市街地整理の戦災復興事業を推進しました。

当社史料室には大正・昭和時代に菅野経三郎から頂いた年賀状や名刺が残っています。また、昭和時代に菅野経三郎からお客様宛に味噌をお送りした記録が残っています。



菅野経三郎

（昭和 54 年 1 月 5 日発行

「岡崎の人物史」より）

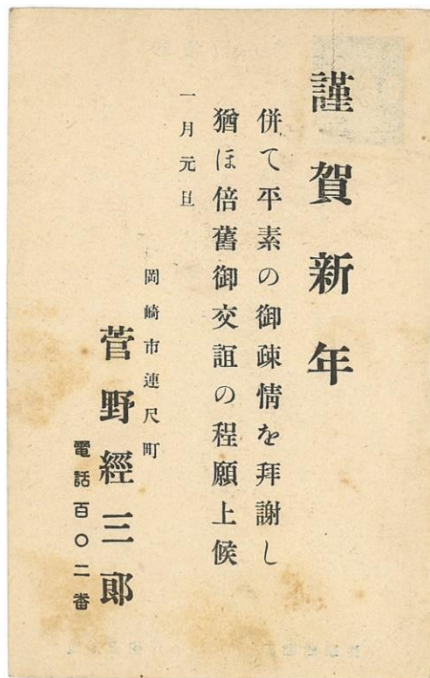
<菅野経三郎の名刺>



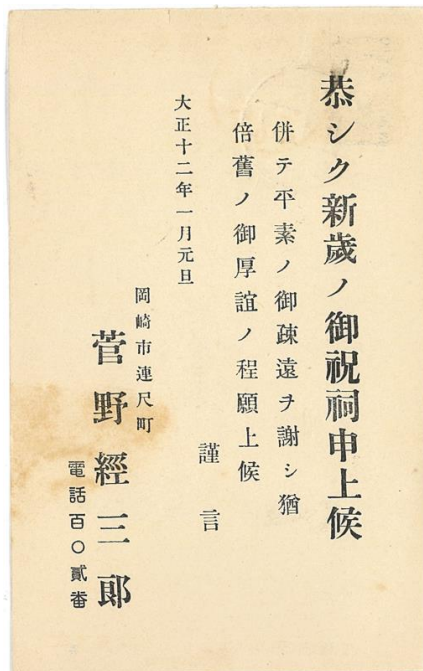
（大正 14 年 1 月 1 日）

（年月日不明）

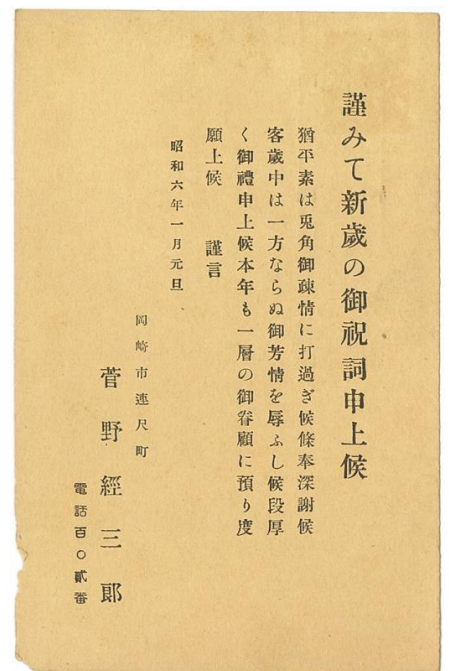
＜菅野経三郎の年賀状＞



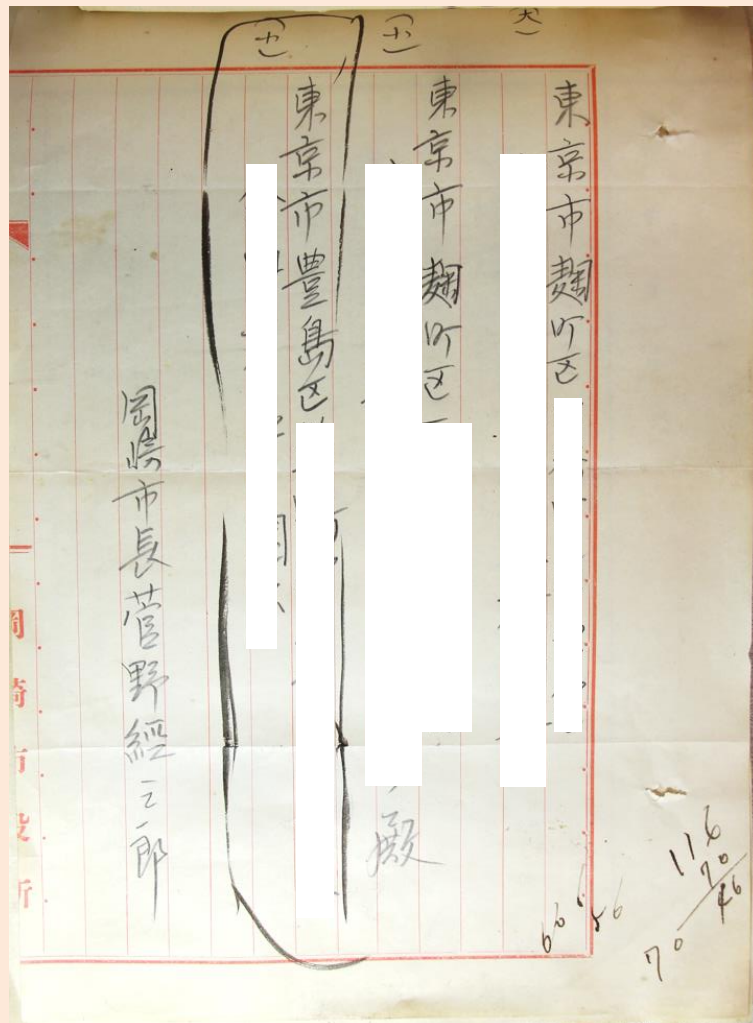
(大正 11 年 1 月 1 日)



(大正 12 年 1 月 1 日)



(昭和 6 年 1 月 1 日)



菅野経三郎からの注文の記録 (昭和 16 年)



紀元二千六百年記念の提灯行列（柄澤照文氏提供）

（令和 2 年 10 月 29 日発行『岡崎市の今昔』より）



焦土と化した街をみて、茫然と立ち尽くす菅野市長（岡崎市立中央図書館所蔵）

（昭和 62 年 11 月 20 日発行『写真でつづる明治・大正・昭和の物語 岡崎あれこれ』より）